

Stereo Sound

2015・WINTER・No.193

決定! ステレオサウンドグランプリ
2014-2015 BEST BUY COMPONENTS 541選



So Easy
簡単なのに
高性能って



カッティングマシン同様、レコード盤上を外周から内周に向けてリニアにトレースすること、もちろん、トーンアームにとってそのことだけが大切なわけではありません。初めての製品THALESはその理論と精密工作から生み出された複雑な形状をもってトラッキング・エラーをゼロに、しかしその後リリースされたTHALES TONARMの製品は、従来からのトーンアームが持つオーソドックスな形状でデザインされ、基本性能や操作性において重要なファundamentalsを手に入れています。ご覧ください、TTT-Cに搭載された新しいEASYは見慣れたトーンアームのデザインそのものですが、そのトラッキング・エラーは $\pm 0.40^\circ$ 数々の改良が加えられたSIMPLICITY IIが達成した $\pm 0.06^\circ$ には及ばないものの、一般的なトーンアームの $\pm 3.00^\circ$ というスペックとは全く異なるのです。極めれば単純。アナログ・ファイル長年の夢はTHALES TONARMのアイデアと技術のもと、日々身近なものになっているのです。



EASY TONEARM ¥750,000(税別)※ケーブルレス
SIMPLICITY 2 TONEARM ¥1,200,000(税別)※ケーブルレス
PHONO CABLE DIN 1.5M ¥180,000(税別)
TTT-C TURNTABLE ¥1,400,000(税別)

Thales **Tonarm**

Stereo Sound
2014 GRAND PRIX

受賞製品

ブランド名	製品名	価格	ジャンル
1 ゴールデンサウンド賞 ソナス・ファベール	Lillum	¥8,800,000(税込)	Loudspeaker
2 ゴールデンサウンド賞 エソテリック	Grandioso C1	¥2,500,000	Preamplifier
3 ロックポートテクノロジー	Avior	¥4,850,000(税込)	Loudspeaker
4 ウィルソンオーディオ	Sasha Series 2	¥4,950,000(税込)	Loudspeaker
5 マジコ	S3	¥3,200,000(税込)	Loudspeaker
6 KEF	Reference 5	¥1,926,000(税込)	Loudspeaker
7 TAD	TAD-CE1 KS	¥1,600,000(税込)	Loudspeaker
8 B&W	CM6 S2	¥330,000(税込)	Loudspeaker
9 エソテリック	K01X	¥1,450,000	SACD/CD Player
10 ラックスマン	D08u	¥1,100,000	SACD/CD Player
11 マイテック・デジタル	Manhattan	¥750,000	D/A Converter
12 コンステレーションオーディオ	AltairII Plus	¥9,800,000	Preamplifier
13 エアー	KX-R Twenty	¥3,900,000	Preamplifier
14 フェーズメーション	CA1000	¥2,500,000	Preamplifier
15 ジュノン	Reference One	¥2,000,000	Preamplifier
16 オクターブ	HP700	¥1,700,000	Preamplifier
17 コンステレーションオーディオ	HerculesII	¥20,000,000(税込)	Power Amplifier
18 CHプレジジョン	M1	¥13,000,000(税込)	Power Amplifier
19 パス	XA160.8	¥3,200,000(税込)	Power Amplifier
20 アクフェーズ	A70	¥1,100,000	Power Amplifier
21 マークレビンソン	No.585	¥1,400,000	Integrated Amplifier
22 デノン	PMA-SX1	¥580,000	Integrated Amplifier
23 テクダス	Air Force Two	¥3,300,000	AD Player
24 ターレス・トーンアーム	SimplicityII	¥1,200,000	Tonearm
25 リン	Klimax EXAKT System	¥8,000,000(税込)	Digital Stream Audio System

ステレオサウンド
グランプリ



選考委員長
柳沢功力
Iso Yanagihara

傅 信幸
Nobuyuki Fu

三浦孝仁
Takahito Miura

和田博巳
Hiroshi Wada

小野寺弘滋
Koji Onodera

原田 勳 (本誌編集長)
Iso Harada

染谷 一 (本誌編集長)
Hajime Someya

GRAND PRIX
2014

—2014年度の「ステレオサウンドグランプリ」の選考が終了いたしました。

受賞製品に関するそれぞれのお話は後ほどおながいいたしますので、まずは今年のグランプリの選考を振り返り、総評をお話しいただきたいと思っております。選考委員長の柳沢功力先生からお願いいたします。

熟考を重ねた グランプリの選考。 厳選という言葉が ふさわしい受賞結果

柳沢 今年のステレオサウンドグランプリの選考対象となった製品は、昨年よりも少ない297機種です。例年に比較すればそれほど少ない数ではないのですが、昨年は311機種と特に多く、選考も長時間におよびました。それに比べると、今年はじっくりと落ち着いて選考ができ、結果も納得のいくものになったと思います。それにまた今年も、

例年のような激しい投票合戦にもなりませんでしたね。

そのような結果として、本年度の受賞製品数は計25機種。ゴールドンサウンド賞の受賞は、ソナス・ファベルのリリウムとエソテリックのグランディオソニーです。

和田 昨年と同じく2機種の受賞ですね。

柳沢 エソテリックはなんと昨年のグランディオソニーP1+D1に続いて、2年連続のゴールドンサウンド賞の受賞となりました。

柳沢 同じブランドが2年続けてゴールドンサウンド賞を射止めるというのは、極めて異例と言え、心からの賛辞を惜しみません。

小野寺 ともにエソテリックの最高級ラインであるグランディオソニー・シリーズのモデルですが、昨年はSACDプレーヤー、今年はプリアンプでの受賞ですから、総合メーカーとしての実力が着実に向上したことの表われでもありますね。

柳沢 そう思います。また、このグランディオソニーC1に代表されると言っているいかもしませんが、今年もプリアンプの充実ぶりが例年になく目立ちました。

三浦 私もそう感じています。プリアンプは6機種もグランプリを受賞していますね。

賞製品数は25で、クリティクス・アプローズに選ばれた15機種をあわせると総数は40機種になります。でも、個人的にはその他にもグランプリに入りたいと思う機種がいくつもありました。これはど惜しいと思う機種が多いことは、今までの私の選考経験ではありませんでした。正直、悔しいと言ったらいのか……。

柳沢 それを言い出したらキリがないのですよ。ある意味では今年も票が散ったと見ることもできそうだけど、でも、ぼくだって毎年そういう思いをしているんだから(笑)。

三浦 ぼくだってそうですよ。
柳沢 皆さんそうですよ(笑)。

ぼくは最近、この選考会の場では毎年申し上げているのですが、今年も優れたデジタルディスクプレーヤーが開発されて、グランプリを受賞したことがとてもうれしいです。すでに海外ではデジタル音源はコンピュータやネットワークを介して聴くようにソフトしているのは誰もが存じでしょうし、日本のオーディオ界も昨今はハイレゾファイル一色です。そんな状況の中でディスクプレーヤーの開発を続けるのは、とても大変なことだと思えます。ですから、メーカーにも、またそれを支えるユーザーの皆さんにも感謝を申し上げます。今やデジタルディスクのマーケットを支えているのは、日本だと言いつついいでしょう。



ステレオサウンドグランプリ選考委員。写真左から奥谷一(本誌編集長)、原田勉(本誌編集主任)、三浦孝一、小野寺弘盛、和田勝巳、柳沢功力(選考委員長)。

三浦 それは間違いのないでしょうね。そのいっぽうで日本においてもハイレゾに関連するハードウェアが徐々に増えてきて、音楽ソフトを提供する側の環境も着実に整い始めてきたというのも事実でしょう。

和田 たた、昨今の、ハイレゾいい音という風潮にはここで釘を刺しておきたいです。ぼくはどちらかというと積極的にハイレゾ再生に取り組んでいるほうだと思っておりますが、そのぼくできえ、近年のオーディオショウな

柳沢 これも極めて珍しいことです。
柳沢 そのうち、半分の3機種が真空管式というのも珍しい。

三浦 このところプリアンプの受賞が少ない傾向にありましたから、個人的に今年の豊作ぶりはうれしいですね。いっぽうで、スピーカーのグランプリ受賞数は7機種と例年よりやや少なく、大型機と呼べるのはゴールドンサウンド賞を射止めたリリウムだけでした。開発時期との兼ね合いなのかもしれないが、これも今年の特徴だと思えます。ただ、魅力的な製品がないかと言うとそうではなく、ウィルソンオーディオのサーシャ・シリーズ2やTADのTAD・CEIなど注目すべき製品がありますので、質は大変に高いといついでいいでしょうね。

柳沢 ぼくも同感です。

小野寺 こうして受賞製品の一覧表を眺めて見ても、最終的にグランプリに選ばれている製品は、S/Nの高さや周波数レンジの広さなどの、特性だけを重視したものではありませんよね。そういったものを飛び越えて、音色の美しさとか、聴いているときの楽しさといったものをよく表現できる製品が最終的にグランプリを受賞したのだということが読み取れます。

柳沢 まったくそのとおりだ。

小野寺 ですから、今後もそうした製品が増えてくれるといいですね。それと、今年の

現代デジタルオーディオのひとつの頂点。 先進的なオーディオシステム

和田 リンのクライマックス・イグザクト・システムは、名前のとおり、システムとして完成しているものですから、ここまで話してきたグランプリ受賞製品とはちよつと性格が異なるところがありますね。

小野寺 グランプリは、その前身も含めて、これまでほぼすべて、いわゆるオーディオコンポーネントが受賞してきましたからね。

傳 ですから、クライマックス・イグザクト・システムは、リンというメーカーのオーディオに対するコンセプトも含めてのグランプリということになると思うんですね。

三浦 まったくそのとおりですね。

小野寺 このシステムはリンが開発したDSをさらに発展させたもので、ヘッドユニットともいべきクライマックス・イグザクトDSMと、各種のデジタル処理機能およびパワーア

Tonearm THALES TONARM



Tonearm
ターレス・トーンアーム **SimplicityII** ¥1,200,000
●型式:スタティックバランス型●スピンドル/ピボット間:230mm●適合カートリッジ重量:7g~23g●備考:写真はグレー仕上げ、他にブロンズ、ブラック仕上げあり。本機にはフォノケーブルは付属しない。オプションで「THALES Phono Cable DIN 1.5M」(¥180,000)あり。●問合せ先:株式会社音響 03(5743)6202 ●誌上掲載:192号

スの最大の
特徴は、カ
ートリッジ
の針先が、
レコードの
音溝に対し
てつねに直
角というか
正しい角度
になること
、つまりトラ
ッキングエ
ラーと呼ば
れるものを、
事実上ゼロ
にする設計
がされてい
ることです
ね。

傳 レコー

ドをかける
と、カート
リッジは内
側に向かっ
て動いてい
かなければ
ならないわ
けですが、
一般的なト

ーンアームでは回転運動によって先端に取り
付けられたカートリッジが音溝に追従するよ
うになっています。

小野寺 その場合、音溝と針先の角度は一定
にはならず、微妙にズレていくわけです。そ
れがトラッキングエラー。

柳沢 たしかにズレるんだけど、音を聴いて
わかるかと思ったら、けつしてわからないほど
のわずかな問題だけれどね。

小野寺 ですが、理論上の理想はトラッキン
グエラーはゼロということでしょう。そのた
め、これまで大きく分けてふたつの方法によ
つてトラッキングエラー・ゼロを目指したト
ーンアームがつくられてきました。

傳 ひとつは、回転ではなく直線的にアーム
を移動させるリニアトラッキング方式。これ
だと原理的にトラッキングエラーは生じない。
小野寺 もうひとつは、回転方向に動きなが
らも、ズレをキャンセルする微妙な角度をカ
ートリッジにもたせる方法で、ターレスはこ
ちらの方式を採用している。

三浦 このアームは2本の細身のパイプを用
いてエラーを極小に抑えているのですが、オ
リジナルのモデルよりさらにエラーが少なく
なり、音質の面でも向上をはたしています。

小野寺 オリジナルのほうは切れすぎるくら
いの切れ味があつて、そこが音の持ち味だつ
たと思うのですが、今度は安定感が前面に出
てきて、新しい魅力となっている。

トーンアームのひとつの理想型に近いんじや
ないかとぼくは思っています。

柳沢 ぼくはローマスが理想とは思わない。

小野寺 カートリッジ次第ですからね。ロー
マスのアームは、ハイコンプライアンスのカ
ートリッジにびつたりとはまるわけですね。

の安定性も含めてひじょうによく練り上げら
れていますね。

和田 それから、デジタル領域でさまざまな
コントロールを行なっていますね。デジタル
クロスオーバーというメインの役割に加えて、
スピーカーユニットの偏差を補正したり、設
置した部屋に合わせた低音のコントロールも
できる。

傳 かつてないほど、トータルで音をコント
ロールしていますよね。

三浦 もっとも先進的なオーディオシステム
と呼べるのではないのでしょうか。

小野寺 メーカーが考える最高の音を、どん
な環境でも提供しようという考え方が素晴
らしいと思うし、実際、近年のリンが推し進
めてきたサウンドを最高の状態で聴くことが
できるシステムになつて、いると思います。

ンプを内蔵するスピーカー、クライマックス・
イグザクト3500だけの、これ以上はないと
いうシンプルな構成が特徴です。

傳 ハイエンドシステムは、複雑な構成に行
きがちですけど、それを極限まで簡便にま
とめあげています。

三浦 しかも、DSMとスピーカー間の伝送
は、イーサネットケーブルを使用したデジタ
ルで行なっていて、理論上、アナログ伝送の
ような劣化がないわけですよ。

傳 音質のために、スピーカーの直近までデ
ジタル伝送をしようとする試みは、かなり以
前から行なわれていて、いくつかのブランド
が実現化していますが、ここまでスマートに
まとめあげることに成功したところはないの
ではないですか。

小野寺 そう思いますね。使い勝手や動作